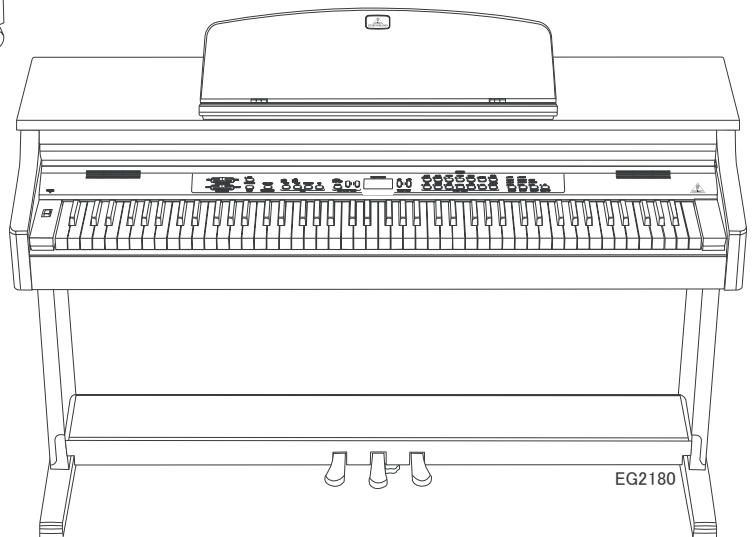
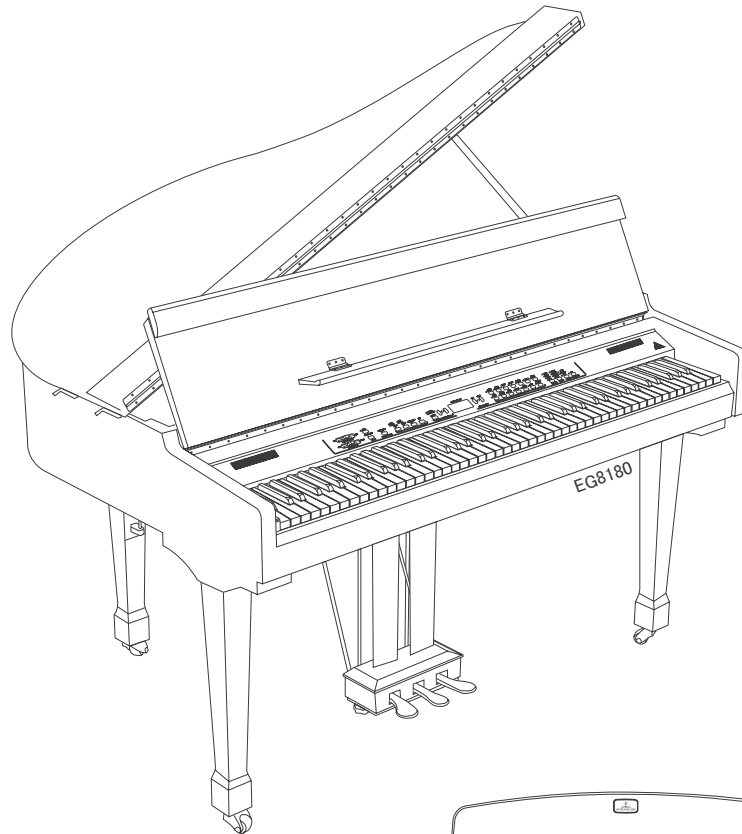


EUROGRAND

取扱説明書

00001



ja

安全にお使いいただくために



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

注意

- ☞ 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れないでください。故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。
- ☞ 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。
- ☞ これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。修理は、資格のあるサービス技術者のみが行うようにして下さい。

注意

- ☞ 電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。

- 1) 取扱説明書を通してご覧ください。
- 2) 取扱説明書を大切に保管してください。
- 3) 警告に従ってください。
- 4) 指示に従ってください。
- 5) 本機を水の近くで使用しないでください。
- 6) お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
- 7) 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
- 8) 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
- 9) 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
- 10) 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分ご注意ください。
- 11) すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。
- 12) 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに手に届く場所に設置して下さい。
- 13) 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
- 14) ート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。
- 15) 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 16) 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



目次

1. はじめに	4	6. 外部機器との接続	15
1.1 ご使用の前に	4	6.1 外部音源の接続	15
1.1.1 出荷	4	6.2 外部アンプまたは録音機器の接続	16
1.1.2 スタートアップ	4	6.3 MIDI 機能	16
2. 演奏開始	4	6.3.1 その他のサウンドモジュールへの MIDI 接続	16
2.1 電源のオン・オフ	4	6.3.2 シーケンサーソフト搭載のミュージックコンピューターと MIDI の接続	16
2.2 スピーカーの使用	4	6.3.3 MIDI 設定	17
2.3 DEMO を聞く	4	7. トラブルシューティング	18
2.3.1 サウンド DEMO を聞く	4	8. テクニカルデータ	18
2.3.2 ピアノ DEMO を聞く	4	9. 注意	19
2.4 音質の選択と演奏	5	9.1 ケーブル	19
3. コントロールパネルと接続端子類	5	9.1.1 アンバランス型 6.3 mm ケーブル	19
3.1 コントロールパネル	5	9.1.2 RCA ピンジャック	19
3.2 接続部	6	9.1.3 6.3 mm / RCA ケーブル	19
3.3 ペダル	6	9.1.4 MIDI ケーブル	19
3.4 電源	7	9.2 EUROGRANDのプリセット	20
3.5 ヘッドフォン接続部	7	9.3 DEMO 曲一覧表	20
4. 基本操作	7	9.4 MIDI-インプリメンテーション	21
4.1 音調の活用 (レイヤーモード)	7	9.5 EDIT-パラメーター	22
4.2 音色の変調	7		
4.2.1 ブライトネス・イコライザー	7		
4.2.2 ルーム効果	7		
4.2.3 モジュレーション効果	8		
4.3 ペダルの使用方法	8		
4.4 ヘッドフォンの使用	8		
5. 取扱応用編	8		
5.1 EDIT モードの利用方法	8		
5.1.1 レイヤーモード機能へのアクセス	9		
5.2 調音	9		
5.3 レイヤーモード設定	9		
5.3.1 音量相関	9		
5.3.2 デチューン	9		
5.3.3 変調	9		
5.3.4 エフェクト強度	10		
5.3.5 リセット	10		
5.4 メトロノームの使用	10		
5.4.1 メトロノーム音量設定	10		
5.5 ミュージックシーケンサー	11		
5.5.1 演奏の録音	11		
5.5.2 音楽の編集	11		
5.5.3 音楽のプレイバック	12		
5.5.4 ミュートした TRACK の音量	12		
5.5.5 ミュージックシーケンサー設定の変更	12		
5.5.6 シンクロサイズの特徴	13		
5.5.7 ミュージックシーケンサーをペダルで開始する	13		
5.6 システム設定	13		
5.6.1 キーボードの強弱設定	13		
5.6.2 弱音ペダル効果	14		
5.6.3 ファインチューニング	14		
5.6.4 チューニング	14		
5.6.5 パラメーター設定の保存	14		
5.6.6 既定設定値の呼出し	15		

1. はじめに

EUROGRAND のお買い上げ、誠にありがとうございます。EUROGRAND はアコースティックピアノに匹敵する音色と感触を再現する最先端のデジタルピアノです。88 鍵盤ウェイトドハンマーアクションキーボードの確かなタッチと、RSM ステレオトーンジェネレーションで他に類のないピアノ演奏をお楽しみいただけます。また、優れたモジュレーション効果とリバーブ効果、および 2 x 40 W のスピーカーシステムでリアルな音を生み出します。さらに、メトロノームを持つ 2 トラックシーケンサーで録音や練習も可能となっています。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

EUROGRAND は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外表面の損傷もご確認ください。

☞ 装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡下さい。

☞ 装置の保管あるいは出荷時は、装置の破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包を使用してください。

☞ 装置や梱包箱を子供の手の届かない場所に置いて下さい。

☞ 環境を損なわないように梱包材を廃棄してください。

1.1.2 スタートアップ

EUROGRAND の過熱を防ぐため、十分な換気の確保に留意し、装置を暖房などのそばに接地することはお避け下さい。

☞ 電源への接続には付属の標準型 IEC コネクター付きケーブルを使用して下さい。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

ネットワーク接続は常温装置接続を持つネットワークケーブルで行ってください。上記は必要な安全性の保証に関連しています。

☞ 全ての装置は必ずアースされていないとはなりません。安全のために、いかなる場合でも装置のアースまたはネットワークケーブルを取り外したり、無効にしないで下さい。

2. 演奏開始

2.1 電源のオン・オフ

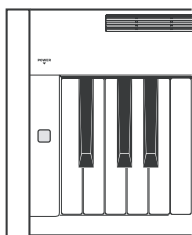
EUROGRAND はデジタル電子ピアノです。ご使用の際は、電源を入れてください。装置に電源を入れる際は、次の手順で行ってください。

☞ POWER スイッチ（キーボードの左側）は、コンセントを接続した際、“オン”位置にあることを確認下さい。

安全ホルダー IEC クーリングアダプター

電源は、IEC クーリングアダプターを介して接続されています。このアダプターは安全接続のために使用されています。適用されるケーブルは、商品梱包内に含まれています。安全ホルダーの交換の際は、基準に合った部品とお取替え下さい。

- 1) ケーブル付属品を楽器下部の接続口に繋ぎ、アダプターを通してコンセントに接続下さい。
- 2) 楽器のオン・オフはキーボード左側にあるスイッチ（POWER）で切り替え下さい。LED の準備完了サインが点灯したら、EUROGRAND に電源が投入されたサインです。



☞ 使用後は必ずスイッチ（POWER）をオフに切り替えてください。その際、POWER-LED の点灯が消えます。ご注意: スイッチをオフにただけでは、装置が完全にスイッチから切り離れたことにはなりません。装置を長期間ご使用されない場合は、コンセントを抜いて下さい。

2.2 スピーカーの使用

EUROGRAND 内蔵のスピーカー又はヘッドフォンの音量調整は以下の手順で行います:

- 1) 音量設定を（MAIN VOLUME）中間地点、MIN と MAX の間に設定下さい。



- 2) 右側（音量大）に動かすことによって音量を上げ、左側（音量小）に動かすことによって音量を下げる事が出来ます。ご希望の音量位置に調整して下さい。

注意

☞ EUROGRAND は、大音量機能を備えています。大きな音量で使用される場合は、耳の疲れまたは、聴覚障害を起こす恐れがございますので十分ご注意ください。特にヘッドフォンをご使用の際は、適切な音量に設定することに心がけてください。

2.3 DEMO を聞く

EUROGRAND は 14 の音色と 15 のピアノ曲 DEMO が搭載されています。楽器の音色や音色彩はこれら DEMO を参照してください。

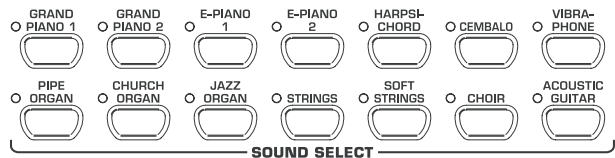
2.3.1 サウンド DEMO を聞く

14 の音調 DEMO を聞くには、以下の手順で行ってください。この DEMO は、お客様が演奏される際に参考となる音調を収録しています。

- 1) “DEMO” と表示してあるボタンを押してください。



- 2) SOUND SELECT にある 14 のボタンの 1 つを押してください。



☞ サンプルモードを解除するには、再び“DEMO”ボタンを押してください。

☞ EUROGRAND の DEMO 音を使用されている際は、MIDI データの入力および出力はおこなわれません。

☞ DEMO モードを切り替える場合、ミュージックシーケンサー（6.5 章参照）が再生又は録音状態にあってははいけません。

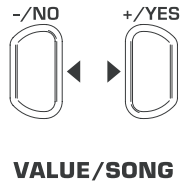
2.3.2 ピアノ DEMO を聞く

以下、15 のピアノ DEMO 曲 DEMO を聴くの手順を説明いたします。このサンプルでは、GRAND PIANO の音質で多彩な音調をお楽しみいただけます。

- 1) “DEMO” ボタンを押してください。



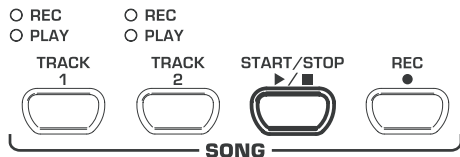
- 2) VALUE/SONG- セクションにある -/NO また +/YES のボタンを押して、曲名を選択してください。



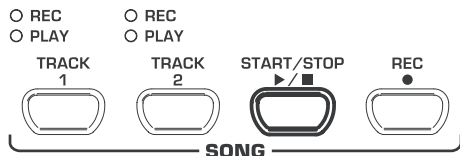
ディスプレイ表示:

- i ... i5: 選択された曲番。
- RL L: 選択全曲 選択された順番に再生が開始されます。
- 5hF: 選択全曲 シャッフル再生が行われます。

- 3) 再生を開始するには、SONG セクションの START/STOP ボタンを押してください。



- 4) 再生を中止するには、再び START/STOP ボタンを押してください。



- 5) 他曲の再生を行うには、2 から 4 の手順を繰り返してください。

🔊 DEMO モードを終了するには、再び DEMO ボタンを押してください。

🔊 曲名一覧は、10.3章に記載されています。

🔊 DEMO モードを切り替える際、ミュージックシーケンサー (6.5章参照) が、再生又は録音の状態にあってはけません。

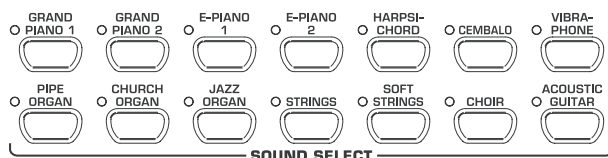
🔊 ピアノ DEMO 曲の再生速度を調節することが出来ます。(6.4章参照)

🔊 ピアノ DEMO 曲再生の際に、音調の選択、また室内効果、転調、音響効果を使用することが出来ます。(5.2章参照) 音調の選択または設定は、DEMO モードを切り替える前に行ってください。

2.4 音質の選択と演奏

EUROGRAND には、あらゆる種類の音質が奏でられるように、14 の音調が搭載されています。音質の選択は、SOUND SELECT-セクションの選択で実行できます。

- 1) SOUND SELECT-セクションにある 14 のキーのうち、1 つを選択してください。



上部 LED キーで、選択された音調 LED ボタンが点灯します。選択されたサウンドは、ピアノ演奏に応用することが出来ます。

🔊 キーを打つ強弱度によって、音質の音量を設定することが出来ます。(HARPSICHORD, CEMBALO, JAZZ-, CHURCH-, また PIPE ORGAN の音調では使用できません。)

🔊 アドバイス: 2つの音質を同時に選択することが出来ます。

3. コントロールパネルと接続端子類

3.1 コントロールパネル

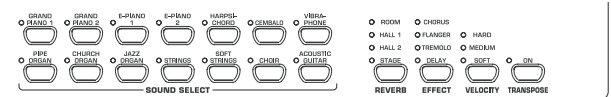
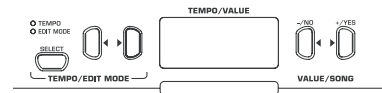
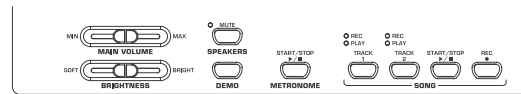
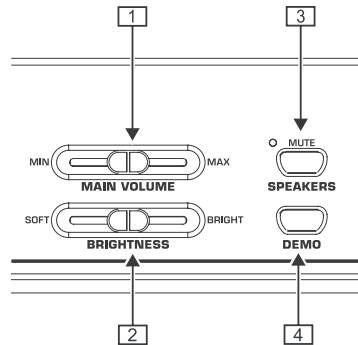
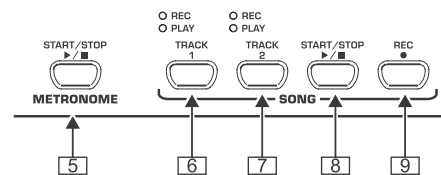


図: 3.1: EUROGRAND のコントロールパネル

以下、EUROGRAND のコントロールパネルを説明いたします。装置機能をわかり易く把握していただくため、セクションごとに記載いたします。

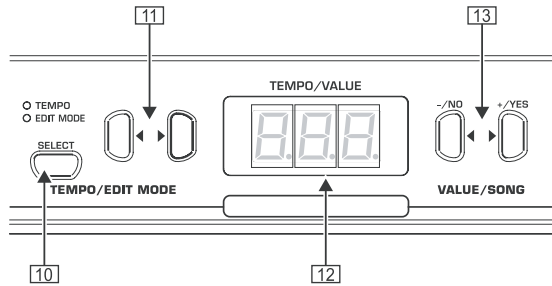


- 1] MAIN VOLUME: スピーカーからの音量、ヘッドフォン、また LINE OUT の音量を制御します。
- 2] 音色調整: 音色をソフト (左) な状態からシャープ (右) な状態に調整することが出来ます。
- 3] SPEAKERS: EUROGRAND のスピーカー機能をオン、オフすることが出来ます。スピーカーがオフの場合、MUTE-LED のボタンが点灯します。ヘッドフォンをご使用の場合、スピーカーは自動的にオフ状態になります。
- 4] DEMO: DEMO モードのオン、オフスイッチです。

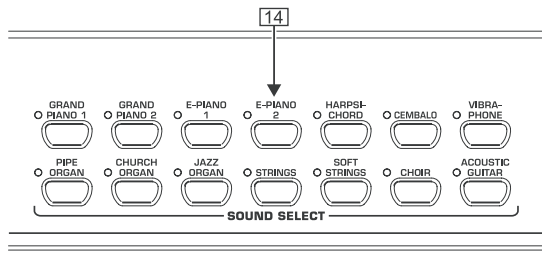


- 5] METRONOME: メトロノーム機能の実行・停止ボタンです。
- 6] TRACK 1: TRACK 1 の再生又は録音機能です。REC-LED のボタンが点灯している場合、録音状態にあります。PLAY-LED ボタンが点灯している場合、TRACK が再生状態にあり、既に録音されたことを示します。
- 7] TRACK 2: TRACK 2 の再生又は録音機能です。REC-LED のボタンが点灯している場合、録音状態にあります。PLAY-LED ボタンが点灯している場合、TRACK が再生状態にあり、既に録音されたことを示します。
- 8] START/STOP: ミュージックシーケンサーの再生また録音機能のスタート、ストップスイッチです。

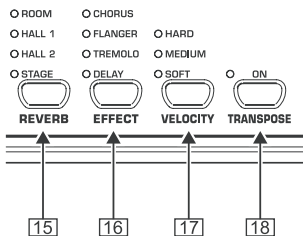
9 REC: 録音開始機能のボタンです。



- 10 SELECT: TEMPO パラメーターの選択と EDIT モードのメニューページです。EDIT モードの場合は、EDIT MODE-LED のボタンが点灯し、TEMPO モードの場合は TEMPO-LED が点灯します。
- 11 ◀▶: SELECT キーの選択によって実行されたモードで TEMPO モード設定、または EDIT モードメニューページ表示が可能となります。
- 12 Display: 選択された項目によって、速度、メニューナンバー、又はパラメーター値が表示されます。
- 13 -/NO, +/YES: ディスプレイに表示されたパラメーター値を変更することが出来ます。+/YES- キーで、EDIT 機能の実行が可能になります。



14 SOUND SELECT: 14 のキーで、それぞれ音調の選択が可能です。DEMO-モードでは、それぞれの音調を奏でることが出来ます。



- 15 REVERB: 選択された音質に 4 つの音響効果を与えることが出来ます。(ROOM, HALL 1, HALL 2, STAGE) LED が点灯しているボタンが、選択された音響効果です。LED ボタンが点灯していない場合は、音響効果が設定されていません。
- 16 EFFECT: 選択された音調を 4 変調効果 (CHORUS, FLANGER, TREMOLO, DELAY) を与えることが出来ます。LED ボタンが点灯している箇所が誤使用の変調効果です。LED が点灯していない場合、変調効果は実行されていません。
- 17 VELOCITY: キーを叩く強弱度を、弱 (SOFT)、中 (MEDIUM)、強 (HARD) と調整することが出来ます。LED の点灯によって、調整状況を表示します。LED が点灯していない場合、キー強弱度設定がないことを示します。
- 18 TRANPOSE: キー・音高・移調の調整ボタンです。

3.2 接続部

EUROGRAND の接続部はキーボードの下部分にあります。

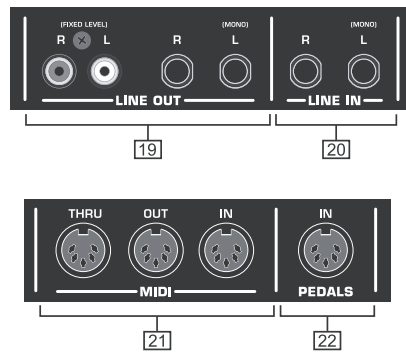
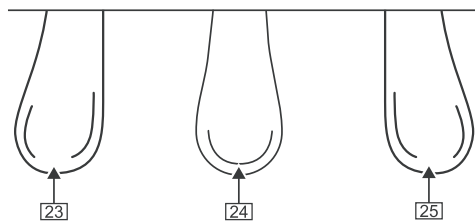


図: 3.2: EUROGRAND の接続部

- 19 LINE OUT: EUROGRAND には、装置シグナル送信用に、2 つの異なる LINE OUT 端子があります。
 - ▲ 6.3mm フォンジャック: LINE IN 端子に接続された機器のサウンドを EUROGRAND の出力にルートしたい場合は 6.3 mm フォンジャックを使用してください。出力信号のレベルは、MAIN VOLUME コントローラーの位置に左右されます。
 - ▲ RCA ピンジャック: RCA ピンジャックは EUROGRAND の音色のみを送信しますが、音量は一定しています。LINE IN 端子から送られる信号は、ここでは送信されません。
- 20 LINE IN: 他装置と接続することができます (例 CD- プレイヤー、サウンドカード、ドラムマシン) 接続されたシグナル発生部は、LINE OUT 差込み口から、内蔵された SPEAKERS に出力することができます。
- 21 MIDI: 3 つの MIDI 端子は、他の MIDI 装置、例えば、シンセサイザー、シーケンサー等と EUROGRAND を接続する際に使用します。
 - ▲ IN 端子からは、EUROGRAND に相関性のある装置の MIDI データを受信することが出来ます。
 - ▲ OUT 端子からは、EUROGRAND で発生したデータ、キー、ペダル、取り扱い等の設定値を MIDI データとして送信することが出来ます。
 - ▲ THRU 端子を介して、MIDI IN 差込み口から送信された MIDI データを再びそのまま送信することが可能です。
- 22 PEDALS: EG2080 のペダル接続機能 (EG2180)。

3.3 ペダル

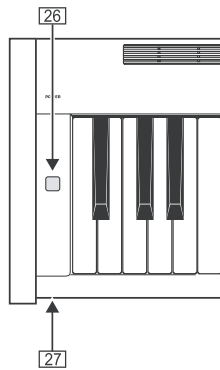
EUROGRAND には、通常のグランドピアノにみられる、3 つのペダルが搭載されています。



- 23 ソフト・ピアノペダル: このペダルで、特に静かなパッセージを奏でることが出来ます。
- 24 ソステヌートペダル: このペダルを踏むことによって、キーを叩いた後の音、もしくは叩く前の音にホールの響きを与えることが出来ます。その後の音は、通常通りに響きます。

- [25] ダンパー/フォルテペダル: このペダルを踏むことによって、キーを叩いた後の音、もしくは叩く前の音を停止することができます。その後の音は、通常通りに響きます。

3.4 電源



- [26] POWER: EUROGRAND 装置に電源を投入または切るスイッチです。
- [27] LED: EUROGRAND が起動している状態であるとき、点灯します。

3.5 ヘッドフォン接続部

ヘッドフォンの接続部は、キーボードの下、左側に位置します。



- [28] 差込み口は、ヘッドフォンのケーブルを接続する部分です。この部分では、音量調整がされません。

4. 基本操作

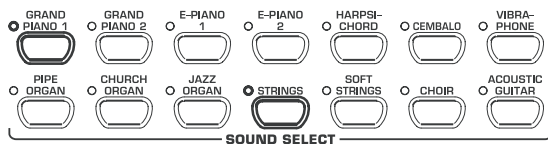
以下、EUROGRAND 装置の基本操作方法の概要です。

4.1 音調の活用 (レイヤーモード)

EUROGRAND では、1 音調のみならず、2 音調を活用いただけます。これらの音調は重ね上げられ(レイヤー)、キー全体で演奏することが可能です。

- 1) SOUND SELECT セクションを押し、同時に重ねあわせたい音調のキーを押してください。

選択されました音調は、点灯しました LED のボタンで表示されます。



この例では、“GRAND PIANO 1”と“STRINGS”の音色が重ねられています。

- [29] レイヤーモードを解除するには再び、SOUND-SELECT セクションのボタンを押してください。このようにして、再び音調を選択してください。

4.2 音色の変調

ルームおよびモジュレーション効果の他、ブライツネス・イコライザーを使って音色を変化させることができます。

4.2.1 ブライツネス・イコライザー

ブライツネス・イコライザーの活用で、音色をソフトに、またシャープな音色に変換することができます。

- 1) 音色の特徴を BRIGHTNESS - 音色調整で調整してください。
- ▲ 柔らかな音色 設定したい場合は左側 (SOFT) ヘレバーを移動させてください。
 - ▲ シャープな明るい音色にしたい場合は、右側 (BRIGHT) ヘレバーを移動させてください。

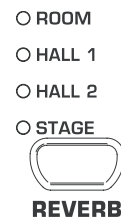


4.2.2 ルーム効果

EUROGRAND は、4 つの音響効果機能を備えています。音響効果は、自動的に適した効果に設定されます。ご希望により、音響効果の変更をすることが可能です。以下の音響効果の選択が可能です：

- ROOM: 小規模な室内演奏用。
 HALL 1: 小規模なコンサートホール用。
 HALL 2: 大規模なコンサートホール用。
 STAGE: 一般ステージコンサート用。

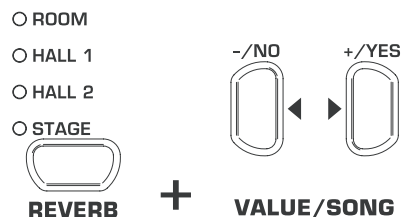
- 1) REVERB-キーを押して、ご希望の音響効果を選択下さい。



LED の点灯によって選択された音響効果を確認することができます。

- [30] LED が点灯していない場合、音響効果は休止状態にあることを示します。

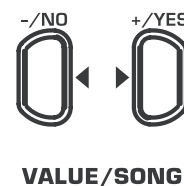
- 2) REVERB ボタンを押しながら、VALUE/SONG セクションの -/NO- 又は +/YES- を押し、本来の音調と効果音の調整を行ってください。



ディスプレイ表示:

□ ... 2□: 効果 (□ = 無効果, 2□ = 強効果)

- 3) REVERB ボタンを押しながら同時に -/NO- と +/YES- キーを押すことによって元の音調に戻すことができます。



4.2.3 モジュレーション効果

EUROGRAND には、4 つの変調効果機能が搭載されています。音調は、自動的に適切な効果が採用されます。ご希望に応じて、音調効果を選択することが出来ます。以下の変調効果をご利用いただけます：

- CHORUS: コーラス効果。音の響きを幅広くします。
- FLANGER: 時差が加わった重音調。淡い響きの音色に設定します。
- TREMOLO: 速くまた 常に音量に変化を与えた音調。
- DELAY: エコー効果 時差のかかった淡い音色の音調。

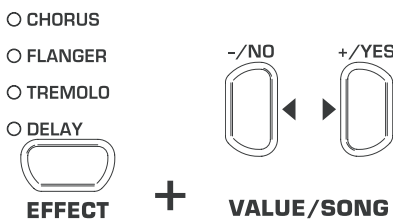
1) EFFECT- キーを押して変調効果を選択してください。



選択した音調効果は LED の点灯によって確認できます。

☞ LED のボタンが点灯していない場合、変調効果の設定がなされていないことを意味します。

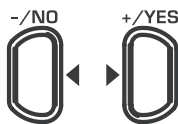
2) EFFECT-キーを押したまま、VALUE/SONG セクションの -/NO- または +/YES- キーで原音から変調効果恩の調整を行ってください。



ディスプレイ表示:

0 ... 20: 効果 (0=無効果, 20=高効果)

3) EFFECT- キーを押したまま、-/NO- と +/YES- キーを押すことによって、元の値に戻すことが出来ます。



VALUE/SONG

4.3 ペダルの使用方法

EUROGRAND には、3 つのペダルがあります。グランドピアノと同様の機能を果たします。ペダルの活用によって、音譜にあった演奏を可能にします。

▲ ソフト/ピアノペダル (左側): 弱音ペダルは、静かで繊細な音質を奏でることが出来ます。ペダルを特に静かなパッセージ演奏にご使用下さい。(ピアノニッシモ)。

- 1) 次に押すキーを弱音する前に、ペダルを踏んでください。
- 2) 通常の音質に戻したい場合は、ペダルを離してください。

☞ ソフトペダルの調整をすることも可能です。(5.6.2 章を参照下さい)。

▲ ソステヌートペダル (中): ソステヌートペダルで、各音を保持 (伸ばす) ことが出来ます。ペダルを踏んだ状態でキーを叩くと、その音が持続されます。その後には奏でられる全ての音に対しても維持状態を保持します。このペダルの機能は、その後の演奏にも活用することが出来ます。

- 1) 保持したい音を叩いてください。
- 2) 強調したい音に対して、ペダルを踏んでください。
- 3) 続いて、演奏してください。設定度通りの音色になります。

4) 通常の状態に戻すには、ペダルを外して下さい。

▲ ダンパー/フォルテペダル (右): このペダルを踏むことによって、既に押された、またこれから押されるキーの音を、キーを押し続けなくても維持することが出来ます。このペダルは、音色を最大に延長するために使用されます。通常のピアノに付属するペダルと同様の機能です。

- 1) 音調を維持したいときには、キーを押し続けてください。
- 2) 音色を維持するには、キーを叩いた直後、もしくは叩く前にペダルを踏んでください。
- 3) 通常の音質に戻されたい場合は、ペダルを外して下さい。

4.4 ヘッドフォンの使用

EUROGRAND には、2 つのヘッドフォン接続端子がキーボードの下部にあります。騒音のない演奏の練習等にご利用いただけます。2 つ目のヘッドフォン接続端子は、他の方が同時に聞けるように設定がされており、ピアノレッスン等に、先生と一緒に聞けることが利点です。

1) MAIN VOLUME- レバーを小音に設定して下さい。(レバーを左側に寄せてください)。



- 2) ヘッドフォーンをキーボード下の接続口に接続下さい。
- 3) MAIN VOLUME- レバーでご希望の音量に設定下さい。



4) ご希望に応じて、EUROGRAND の SPEAKERS- テスターボタンで、SPEAKERS をオン又はオフ状態に設定下さい。



☞ 通常、ヘッドフォンを接続されましたら、EUROGRAND の SPEAKERS からは音が聞こえなくなり、MUTE-LED のランプが点灯します。

☞ ヘッドフォンが取り外されましたら、自動的に EUROGRAND の SPEAKERS 音に接続され、MUTE-LED のランプが消えます。

5. 取扱応用編

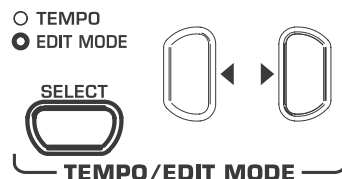
以下、EUROGRAND の取扱応用編をご説明いたします。

5.1 EDIT モードの利用方法

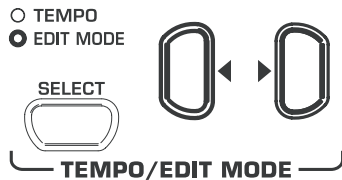
EUROGRAND の EDIT モードを活用することによって、様々な機能をお楽しみいただけます。EDIT モード機能の活用法は以下の通りです。

☞ EDIT モード機能を活用する場合もしくは設定値を変更される場合は、以下の手順で行ってください。

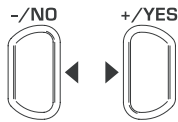
1) TEMPO/EDIT MODE セクションにある SELECT- キーを EDIT MODE-LED のランプが点くまで押してください。



2) ◀▶- ボタンでご希望の機能選択を行ってください。(例 E f)



3) VALUE/SONG- セクションの -/NO- または +/YES- ボタンでご希望の値に設定して下さい。

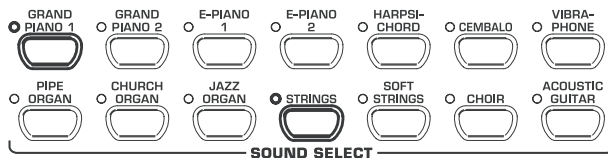


VALUE/SONG

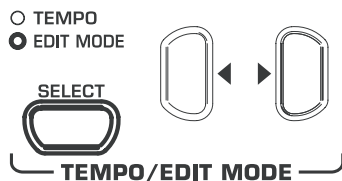
5.1.1 レイヤーモード機能へのアクセス

以下の手順で、メニューページから素早くレイヤーモードを設定することができます。

1) レイヤーモードで選択されました 2 つのボタンを押しながら、(例 GRAND PIANO 1 と STRINGS) TEMPO/EDIT MODE- セクションにある SELECT- ボタンを同時に押してください。



+



EDIT MODE-LED のボタンが点灯し、EDIT- ページ E3.1 が表示されます。

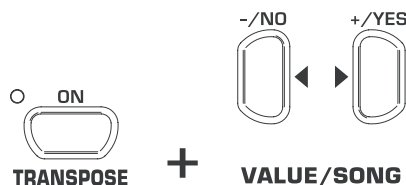
5.2 調音

EUROGRAND の音調は、半音ごと(キーごと)に調整することができます。例えば、演奏されます曲が変調の少ないもしくは必要としない場合(例 ハ長調)、楽器の設定が変調の大きな場合(例 偏二長調、変調の手順が素早くなります。

例: 偏二長調には 5 つのシャープ-音譜記号があります。この音色を奏するには、黒鍵盤を多く使用する必要があります。キーを半音上に変調設定することによって、白鍵盤のハ長調で演奏することができます。

オクターブ歩変調(12 半音変調)を利用することによって、演奏が一段と簡単になります。

1) TRANSPOSE- ボタンを押したまま、VALUE/SONG- セクションの -/NO- または +/YES- ボタンで半音設定されている調音インターバルの値をご希望の音色に決めてください。



ディスプレイ表示:

- 0: 無変調(通常設定)。
- + 1 ... + 12: 半オクターブ上設定。
- 1 ... - 12: 半オクターブ下設定。

2) 希望の音調が定まりましたら、再び TRANSPOSE- ボタンから指を離してください。

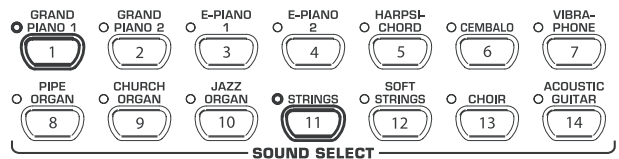
☞ 変調設定されている場合、値が 0 より大きい又は小さい設定の場合、TRANSPOSE- ボタンの LED ランプが点灯します。

☞ 変調設定インターバルが既に設定済みである場合、TRANSPOSE ボタンを押すだけで、これを切替えることができます。

5.3 レイヤーモード設定

レイヤーモードの応用によって、演奏の際に 2 種類の音色を同時に奏でることが出来ます。

全ての音色は 1 から 14 まで番号がついています。これらの番号は、音調 1 又は音調 2 がどの音色に設定されているか確認することができます。音色の設定を行う場合は、この番号にご注意下さい。



この例では、レイヤーモードを GRAND PIANO 1 と STRINGS に設定しています。GRAND PIANO は 1 番、STRINGS は 11 番の番号が設定されています。小値設定にある音調は、音調 1 (この場合、GRAND PIANO 1) また、大値設定にあるほうが音調 2 (この場合、STRINGS) の設定がなされています。

☞ 音調設定に置いては、上記のことを意識しながら、ご希望の音調設定を正しく行ってください。

☞ 2 つのサウンドから成るレイヤーコンビネーションは、以下の機能を調節する前に設定してください。(4.1章参照)。

5.3.1 音量相関

この機能は、選択されました音調の音量相関を設定することができます。

☞ EDIT モードより設定が可能で、(5.1 章参照) 以下のように実行してください。

機能: E3.1

値: 0 ... 20

解説:

0: 音調 1 と音調 2 が同音量

... 0: 音調 2 の音量が音調 1 より大きい

0 ...: 音調 1 の音量が音調 2 より大きい

5.3.2 デチューン

この機能では、選択されました音調を微調整することが可能です。

☞ この機能は、EDIT モード(6.1 章参照) から設定が可能で、以下の手順で実行してください。

機能: E3.2

値: - 10 ... 10

解説:

0: 音調 1 と音調 2 の音程度が同じ

... 0: 音調 2 が音調 1 より高音程

0 ...: 音調 1 が音調 2 より高音程

5.3.3 変調

この機能で、音調をオクターブ音上に又は下に変調することが可能です。変調を行うことによって、音色をより一層均質的な音質に設定することができます。

この機能で、音調をオクターブ音を上に又は下に変調することが可能です。変調を行うことによって、音色をより一層均質的な音質に設定することが出来ます。

EDIT モードから (6.1 章参照) 機能の設定を以下のように実行してください。

機能: E3.3 (オクターブ調音 音調 1)
E3.4 (オクターブ変調 音調 2)

値: -1 ... 1

解説:

- 0: 変調なし
- 1: 変調 1 オクターブ音を下げる
- 1: 変調 1 オクターブ音を上げる

5.3.4 エフェクト強度

この機能によって、選択されました音調に音響効果を与えることが出来ます。

EDIT モードから (5.1 章参照) 機能の設定を以下のように実行してください。

機能: E3.5 (音響効果 音調 1)
E3.6 (音響効果 音調 2)

値: 0 ... 20

解説:

- 1 ... 20: 音響効果設定値 (既定設定)
- 0: 音響効果なし

5.3.5 リセット

レイヤーモードで設定されました設定内容は、以下の手順でリセットすることが出来ます。

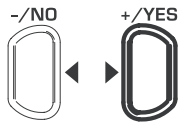
EDIT- モードから (5.1 章参照) 以下の手順で実行してください。

機能: E3.7

値: -

解説:

機能を実行するために、+YES- ボタンを押してください。



VALUE/SONG

5.4 メトロノームの使用

EUROGRAND には、一定したリズムを保って演奏するためのメトロノームが搭載されています。

以下、メトロノームの使用について、説明いたします:

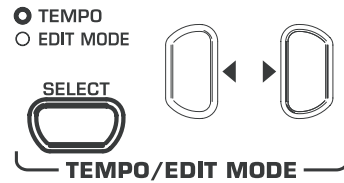
1) メトロノームの起動/停止には METRONOME ボタンを押してください。



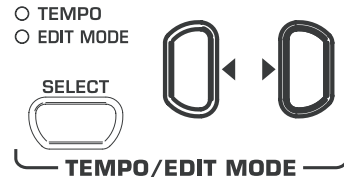
METRONOME

メトロノームの拍子は、ディスプレイの点滅によって確認することが出来ます。全てのランプが点灯しましたら、拍子開始のサインです。

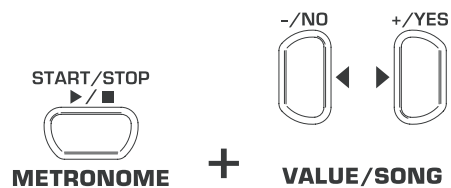
2) TEMPO/EDIT MODE セクションの SELECT ボタンを TEMPO-LED が点灯するまで押してください。



3) ◀▶-ボタンでお好みの速度に設定して下さい。



4) METRONOME ボタンを押したまま、VALUE/SONG セクションの -/NO- または +/YES- ボタンで拍子速度 (ビート) を設定して下さい。



ディスプレイ表示:

- 04: 拍子設定標準 (既定設定値)
- 24, 34, 44, 54, 64, 74: 四分の一 (例 2/4 拍子)
- 38, 58, 78, 98, 128: 八分の一 (例 3/8 拍子)

5.4.1 メトロノーム音量設定

以下のように、メトロノームの音量を設定することが出来ます。

EDIT- モード (6.1 章参照) から、以下の機能で設定を実行してください。

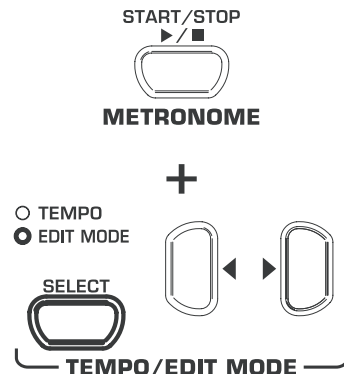
機能: E5

値範囲: 1 ... 20

解説: メトロノーム音量 (1 = 小, 20 = 大)

以下の手順で、メニュー画面から直接メトロノームの音量を設定することが出来ます。

1) METRONOME- ボタンを押したまま、TEMPO/EDIT MODE- セクションにある SELECT- ボタンを押してください。



EDIT MODE-LED が点灯し、EDIT- ページ E5 が呼び出されます。

5.5 ミュージックシーケンサー

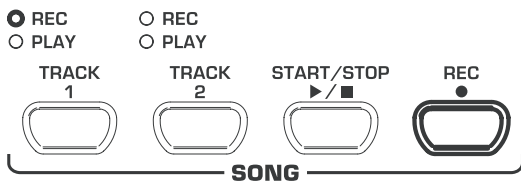
EUROGRAND には 2-TRACK シーケンサーが搭載されており、演奏曲を録音し、再生することが出来ます。2 つの TRACK では、1 つ又は 2 つの音調で再生することが出来ます。つまり、最高 4 種類の音調で、曲を再生することが可能です。シーケンサー再生の際にも、同時演奏が可能で、その際、6 つの音調で音楽を楽しむことが出来ます。

ミュージックシーケンサーは、ピアノの練習にも役立ちます。例えば、左手と右手の演奏をそれぞれ別の TRACK に録音することが出来ます。片方の TRACK だけを再生することが出来ますので、片手ごとにピアノのレッスンをすることが出来ます。

5.5.1 演奏の録音

以下、ミュージックシーケンサーを使って、演奏曲を録音する手順を説明いたします。

- REC ボタンを押してください。TRACK 1- または TRACK 2- ボタン上部の REC-LED ボタンが点灯します。ディスプレイ上に見られる点滅は、設定されましたメトロノームの速度を表示します。EUROGRAND が録音モード状態に設定されました。



このミュージックシーケンサーは、約 10,000 曲録音する容量があります。ペダルの使用回数によって、この容量が減少する場合があります。

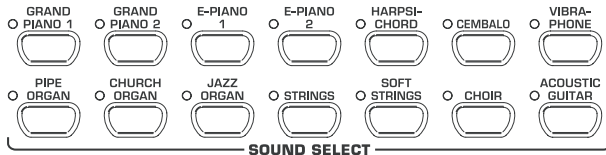
録音モードは、REC ボタンを再度押すことによって、中止することが出来ます。

- 必要であれば、メトロノームの速度を 5.4 章で説明いたしましたように設定して下さい。
- TRACK 1 を録音できる状態にするため、RED-LED ボタンが赤く点灯するまで、TRACK 1- ボタンを押してください。既に録音をされたことがある場合、最後にご使用されました TRACK が自動的に選択されます。録音 TRACK のポジションを変えたい場合は、TRACK の選択を再び行ってください。



注意: TRACK の PLAY-LED ボタンが点灯している場合、その TRACK に既に曲が収録されていることを示します。その際、その TRACK (REC-LED が赤く点灯) を使用して録音されたと、前に収録された曲は失われ、新しい曲が上書き保存されます。

- SOUND SELECT- セクションから音調を選択下さい。録音には、音調を選択し、組み合わせることが出来ます。(4.1 章参照)

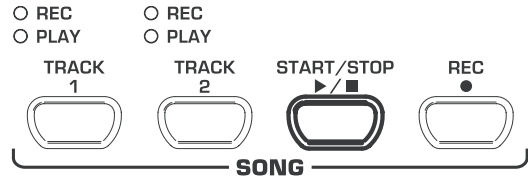


- メトロノームの音響効果を取り入れたい場合は、METRONOME- ボタンを押してください。



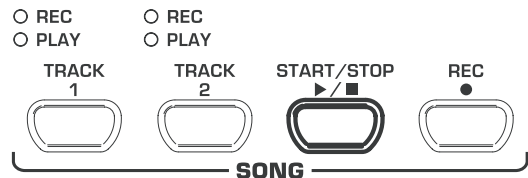
METRONOME

- START/STOP- ボタンを押して、録音を開始するか、又は直接演奏から録音することが出来ます。設定された拍子は、ディスプレイ上で確認することが出来ます。



録音中に、ディスプレイ上で“Full”のサインが表示された場合、録音容量がいっぱいであることを意味します。この表示がされる前に録音された曲は収録されていますが、このサインが点滅した時点の曲は録音されていません。

- 録音を終了するには、再び START/STOP- ボタンを押してください。



このボタンを押すことによって自動的に録音モードは終了されます。

- TRACK 2 に録音する際も、上記の手順で行ってください。ステップ 3 で、選択する TRACK を 1 の代わりに 2 に指定するだけで変更は可能です。

アドバイス: 左手または右手だけの演奏練習を行いたい場合は、(例えば音楽の先生と共に) TRACK 再生の際、TRACK 1 または、TRACK 2 の片方の再生に設定することによって可能になります。

アドバイス: METRONOME- ボタンを再度押すことによって、メトロノーム機能を解除することが出来ます。

5.5.2 音楽の編集

収録されました曲を再生するには、以下の手順で実行してください。

- TRACK 1- または TRACK 2- ボタンを PLAY-LED の緑色のランプが点灯するまで押してください。



録音データが収録されていなければ、再生は出来ません。

- その際、メトロノーム拍子を使いたい場合は、再び METRONOME ボタンを押してください。



METRONOME

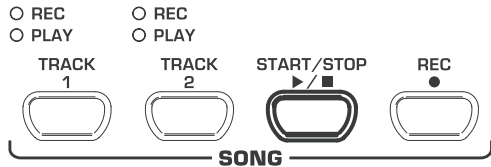
ja

- 3) TEMPO/EDIT MODE- セクションの SELECT ボタンをTEMPO-LEDのボタンが点灯するまで押し、◀▶- ボタンでご希望の速度に調整してください。



- ☞ オリジナルの速度で再生されたい場合は、◀▶- ボタンを同時に押ししてください。

- 4) 再生するには START/STOP- ボタンを押してください。再生曲の拍子は、ディスプレイに常に表示されています。

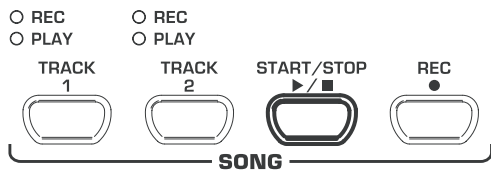


- ☞ 再生中、いつ DEMO 両 TRACK を実行又は休止に切り替えることが出来ます。

- ☞ 選択されました音色をミュージックシーケンサーで再生する際に応用することが出来ます。

- ☞ アドバイス: 右手の演奏を TRACK 2 また左手の演奏を TRACK 1 に定義した場合、片手演奏の練習をすることが可能です。TRACK の音量を調整することも可能で、片方の TRACK を小音量にして再生させることも可能です。(5.5.4章参照)。

- 5) 再生を停止したい場合は再び START/STOP- ボタンを押してください。



5.5.3 音楽のプレイバック

録音した演奏の一部のみを再生する手順は以下のように実行してください。苦手な演奏箇所を繰り返し練習するのに便利です。

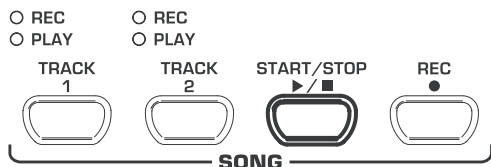
- ☞ この機能を使用するには、右手、左手の演奏をそれぞれ TRACK 1 と 2 にそれぞれ録音する必要があります。このようにすれば、片手みの再生が可能で、ミュージックシーケンサーの再生の際に、片手練習が可能です。

- 1) 再生の際にご希望の TRACK を PLAY-LED のランプが点く TRACK- ボタンのほうに設定下さい。

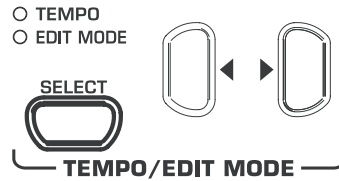


- ☞ ミュート設定された側の TRACK の音量を設定することが出来ます。(5.5.4 章参照)。

- 2) ご希望の TRACK 再生は START/STOP- ボタンを押してください。



- 3) 繰り返し再生したい場所にプレイバックが来た時に、TEMPO/EDIT MODE セクションの SELECT ボタンを押してください。



ディスプレイ表示:

R-: 演奏箇所のスタートポイント設定。

- 4) 再生を中断したい場所を SELECT ボタンを押すことによって決定します。

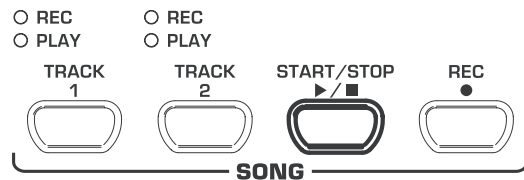


ディスプレイ表示:

R-b: 再生停止ポイントの設定。

選択されました演奏箇所は何度 DEMO 繰り返し再生することが出来ます。

- 5) START/STOP- ボタンを押すことによって、再生を停止することが出来ます。



- ☞ SELECT-ボタンを押すことによって、繰り返しモードを停止することが出来ます。

- ☞ 繰り返し再生に設定した演奏箇所は、ミュージックシーケンサーモードを停止することで取り消されます。

5.5.4 ミュートした TRACK の音量

以下の手順でミュート設定した TRACK の音量を調整することが出来ます。

- ☞ EDIT- モード (5.1 参照) より設定が可能です。

機能: E6

値: 0 ... 20

解説:

0 ... 20: ミュート設定した TRACK の音量 (既定設定値: 5)

0: 完全にミュート状態にした場合の TRACK を聞くことは出来ません。

5.5.5 ミュージックシーケンサー設定の変更

以下、録音済みの演奏曲の再生設定の変更方法を説明いたします。

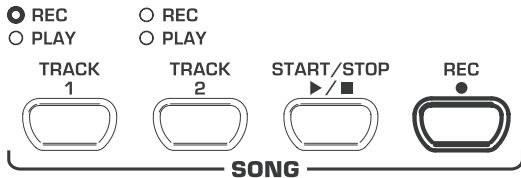
収録された TRACK ごとに設定を変えることが出来ます:

- ▲ 音調 (2.4 章参照)
- ▲ 音響効果 (4.2.2 章参照)
- ▲ 変調効果 (5.2.3 章参照)
- ▲ 重奏音効果 (4.1 と 5.3 章参照)

演奏曲全体の一般変調が可能です。

- ▲ 拍子 (5.4 章参照)
- ▲ 拍子特徴 (5.4 章参照)
- ▲ 音響効果 (4.2.2 章参照)
- ▲ 変調 (4.2.3 章参照)

- 1) 録音モードを切り替える場合、SONG- セクションの REC ボタンを押してください。TRACK 1- 又は TRACK 2-Tasters の REC-LED ボタンが点灯し、メトロノームの拍子がディスプレイに表示されます。

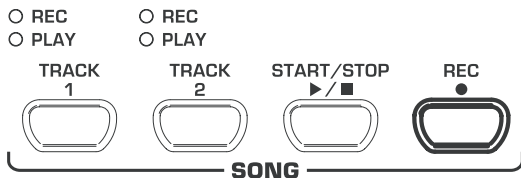


- 以下の設定に置いて、START/STOP のボタンを押さないようにしてください。収録済みの演奏が消却され、新たに録音が開始されてしまいます。

- 2) TRACK- ボタンで設定を変更したい TRACK を選択下さい。TRACK 全般の設定を変更したい場合は、(例 拍子速度、拍子特徴 等) いずれかの TRACK を選択下さい。



- 3) ご希望の調整を選択下さい。上記の手順で設定を実行下さい。
- 4) TRACK の変更はステップ 2 を実行下さい。
- 5) 録音モードを停止するには、REC- ボタンを再度押して下さい。



変更がミュージックシーケンシーに登録されました。再生を実行すると、変更された設定を実行することが出来ます。以前に設定された値は、消去されます。

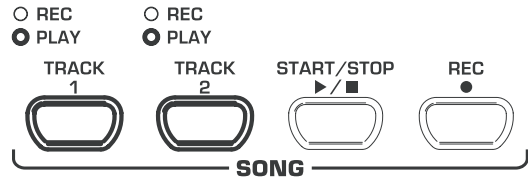
5.5.6 シンクロサイズの特徴

ミュージックシーケンシーの再生機能は、キーを叩くことによって実行されます。この機能は、ミュージックシーケンシーを伴奏として再生する際に便利です。この機能は DEMO- モード DEMO 活用していただけます。

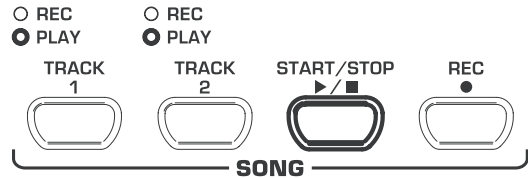
- 1) 再生したい TRACK が正しく選択されたかご確認下さい。(PLAY-LED の TRACK ボタンが緑色に点灯します。) SONG セクションの TRACK ボタンで、選択されたい TRACK に設定下さい。



- 2) SONG セクションの START/STOP ボタンを押して、現在実行中の TRACK ボタンを押してください。



+



ディスプレイの右下部分のランプはシンクロ設定の、メトロノーム速度を表示しています。キーボードを叩くことによって、シンクロナイズ機能がスタートします。

- シンクロナイズ機能を終了したい場合は、ステップ 2 の手順で行ってください。

5.5.7 ミュージックシーケンシーをペダルで開始する

以下の手順で、ミュージックシーケンサーをソフトペダルで操作することが出来ます。演奏中にミュージックシーケンサーを活用するのに便利な機能です。DEMO- モードにおいても、ペダル操作設定でスタートまたはストップすることが可能です。

- この機能を実行するにはEDIT-モード (6.1章参照)で以下の機能呼び出し下さい。

機能:	E4.1
値:	1,2
解説:	
f:	ソフトペダル機能 (既定設定)
g:	ミュージックシーケンサ START/STOP

5.6 システム設定

EUROGRAND は装置全体のシステム全般の設定が可能です。以下、どのような設定が可能であるかまた設定の変更を説明いたします。

5.6.1 キーボードの強弱設定

キーの強弱度パラメーターは、キーを叩く強弱によって音量を設定します。キーを強く叩くことによってより大きな音量を発生することが出来ます。

以下、キーの強弱設定方法を説明いたします。

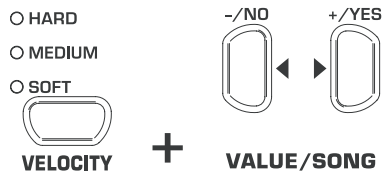
- 1) 以下の設定に切り替えるには VELOCITY- ボタンを押してください:

- HARD: 最大の音量をだすには、キーをすよく叩いてください。
- MEDIUM: キーを中力で叩くことによって、最大の音量を出すことが出来ます。(既定設定値)
- SOFT: キーを軽く叩くことで最大の音量を出すことが出来ます。
- OFF: LED のランプが点いていない場合、音量はキーの強弱に関係なく設定されます。



LED の表示は現在の設定を表示しています。LED のランプが消えている場合は、キー強弱音量設定は解除されています。以下の手順で設定を行うことができます。

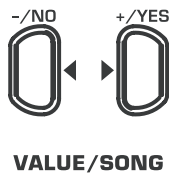
- 2) VALUE/SONG- セクションの -/NO- 又は +/YES キーで、キー強弱の音量設定を VELOCITY- ボタンを押したまま行ってください。



ディスプレイ表示:

1 ... 127: キーを叩いた後の音量設定 (既存設定: 64)

- 3) VELOCITY- ボタンを押しながら -/NO- と +/YES- ボタンを押し、スタンダード設定を呼出してください。



- ☞ キー強弱音量設定は、音調、HARPSICHORD、CEMBALO、JAZZ、CHURCH 又は PIPE ORGAN の設定を変えることはありません。

- ☞ アドバイス: お子様が登場される場合は、設定をソフト (SOFT) にすることをお勧めします。

5.6.2 弱音ペダル効果

以下、弱音ペダル効果について説明いたします。

- ☞ EDIT-モード (5.1章参照) から以下の機能と呼出してください。

機能: E4.2

値: 1 ... 5

解説:

- 3: 通常弱音ペダル (既存設定値)
- 1: わずかな弱音効果
- 5: 高い弱音効果

- ☞ ミュージックシーケンスモードを停止した状態でのみ、(5.5.7章参照)この設定を実行することができます。

5.6.3 ファインチューニング

EUROGRAND は他の楽器に調和させるためまたは適した音調にするため、微調音することができます。この設定は、全てのキーに行われます。

以下、EUROGRAND の微調音について説明いたします。ディスプレイ表示の設定値は室内響音 "A", ヘルツ単位です。(Hz)

- ☞ EDIT-モード (5.1章参照) から以下の機能と呼出してください。

機能: E 1

値: 427 ... 453

解説:

- 440: 欧州設定 (既定値設定)
- 453: 最大調音上
- 427: 最小調音下

1/5 ヘルツ歩は以下の 1 桁又は 2 桁で設定されます。

- 440:
- 4.40:
- 44.0:
- 440.:
- 4.40.:

5.6.4 チューニング

EUROGRAND は、数世紀前に奏でられた音色を再現することが出来ます。現在主に使用されている音調は、19 世紀以降から現在まで用いられている音調です。バロック曲 (例 J.S. バッハ) には、その時代にあった音調が求められるでしょう。

EUROGRAND で設定可能な音調は以下の通りです:

- ▲ 均等音調 (既定設定値)

今日よく使用されている音調は 19 世紀から存在し、単調・長調の 5 番周期演奏が可能です。

- ▲ 単調-/長調 調音

これらの和音はクラシック音楽の終止和音である主和音、属和音、付属和音に忠実な構成となっています。

- ▲ ピタゴラス 調音

この音調は、初期または中世クラシック音楽に用いられ、純粋に 1 分割 4 分の 1、5 分の 1 またオクターブ変換されています。

- ▲ 中間調音

今日、16 世紀から 17 世紀にかけて用いられた中間調音を用いることも可能となりました。(例 G. F. ヘンデル)。

- ▲ ベルクマイスター/キルンベルガー 調音

これら両調音方式はバロック調 (例 J. S. バッハ) の曲を演奏するのに有意義な調音です。ベルクマイスター調音はオルガン演奏に良く用いられる調音です。

以下、EUROGRAND の調音方法を説明いたします。

- ☞ EDIT-モード (5.1 章参照) から以下の機能と呼出してください。

機能: E2.1

値: 1 ... 7

解説:

- 1: 均等調音 (既定設定値)
- 2: 純長調
- 3: 純単調
- 4: ピタゴラス調
- 5: 中間長調
- 6: ベルクマイスター調
- 7: キルンベルガー調

均等調音以外の音調設定には基本音の選択が必要です。

以下、基本音の選択手順を説明いたします:

機能: E2.2

値: c ... b

解説:

交互音は単線の上半部又は下半部の音で示されます。上半部とは、音調を半音上げることで、下半部とは音調を半音下に下げることです。

ディスプレイ表示:

c: 上調音 ハ調 (Cis / C#)

E: 低調音 ホ調 E (Es / E_b)

5.6.5 パラメーター設定の保存

EUROGRAND は装置の電源を切っても設定された内容を保存することができます。保存機能を有効にしていない状態では電源を切った場合、それらの設定は失われます。その際、装置を再起動させますと、既定設定が作動します。

保存機能は以下のプログラムに応用することができます: 音調、MIDI、調音また 弱音ペダル設定それぞれ実用いただけます。

- ☞ EDIT-モード (6.1 章参照) を呼出し、ご希望の機能を選択下さい。

▶ 音調

以下、設定保存内容を記載いたします:

- ▲ 音調 (2.4 章参照)
- ▲ レイヤーモード設定 (4.1 章と 5.3 章参照)
- ▲ 音響効果設定 (4.2.2 参照)
- ▲ 変調音設定 (4.2.3 章参照)
- ▲ キー強弱設定 (5.6.1 章参照)
- ▲ メトロノーム-拍子設定 (5.4 章参照)
- ▲ グラデーション音量設定 (5.5.4 章参照)

機能: EB.1
 値: on, off
 解説:
 off: 音調保存設定無効 (既定設定値)
 on: 音調保存設定有効

▶ MIDI

以下の設定が保存可能です:

- ▲ MIDI-全設定 (6.3.3 章参照)

機能: EB.2
 値: on, off
 解説:
 off: MIDI-設定保存は無効です。(既定設定値)
 on: MIDI-設定保存は有効です。

▶ 音調

以下の設定が保存可能です:

- ▲ 変調 (5.2 章参照)
- ▲ 微調音 (5.6.3 章参照)
- ▲ 音調調整 (5.6.4 章参照)

機能: EB.3
 値: on, off
 解説:
 off: 音調設定保存は無効です。(既定値設定)
 on: 音調設定保存は有効です。

▶ ダンパーペダル

以下の設定が保存可能です:

- ▲ ダンパーペダル機能 (5.5.8 章参照)
- ▲ ダンパーペダル効果 (5.6.2 章参照)

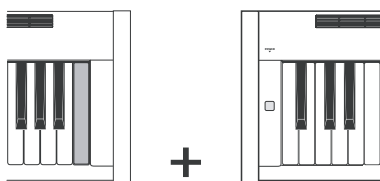
機能: EB.4
 値: on, off
 解説:
 off: ダンパーペダル設定は無効です。(既定設定値)
 on: ダンパーペダル設定は有効です。

5.6.6 既定設定値の呼出し

以下、既定設定値の呼出し用法を記載します。

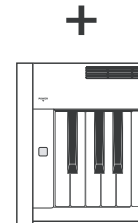
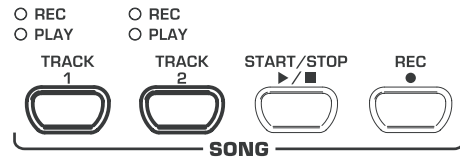
☞ 保存されたパラメーターやミュージックシーケンサー設定は、この操作を行うことによって消去されます。

- 1) もし電源が切られていなければ、POWERスイッチを押して、装置の電源を切ってください。
- 2) キー左側に位置する C- キーを押しながら、EUROGRAND の電源を入れてください。



または、以下の方法 DEMO 可能です:

- 1) 装置の電源が切れていない場合は、POWERスイッチ で電源を切ってください。
- 2) TRACK 1- と TRACK 2- のボタンを押しながら、EUROGRAND の電源を入れてください。



- 3) 約 5 秒後に再び TRACK ボタンを外して下さい。

6. 外部機器との接続

EUROGRAND をその他の外部機器と接続することが出来ます。

注意

- ☞ 接続前に、装置の電源が切れていることを確認してください。
- ☞ LINE IN 接続部と LINE OUT 接続部を絶対に接続しないで下さい。音量設定が破壊されることがあり、耳に障害を与える危険性があります!

6.1 外部音源の接続

EUROGRAND は、その他の音響装置をステレオ LINE IN 端子に接続することが出来ます。音声信号は、内蔵スピーカーもしくはヘッドフォンを通して出力することが可能です。

以下の図で、例えば EUROGRAND を CD プレイヤーと接続する方法を説明いたします。接続には、2つのケーブルと固定プラグが必要です。(9.1.3 章参照)。またはアダプターをご利用いただけます。

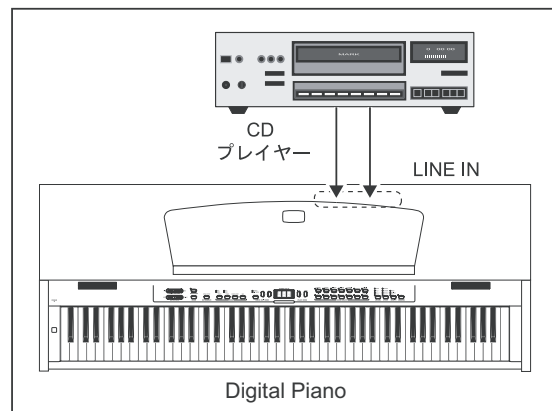


図: 6.1: 外部音源の接続

- 1) CD- プレイヤーの OUT LINE 部を EUROGRAND 部の LINE IN- 部に接続下さい。
- ☞ モノラル接続には、デジタルピアノの LINE IN L (MONO) 接続端子を使ってください。

ja

6.2 外部アンプまたは録音機器の接続

EUROGRAND は LINE OUT 接続部でキーボードアンプ、音波機またはアンプ機に接続することが可能です。アンプを接続される場合は、音響を有するため、大きめの室内である必要があります。(例 舞台、ホール)。

また出力信号は録音機器 (例えば コンピューター、カセットデッキ、MD レコーダー) と接続することが出来ます。

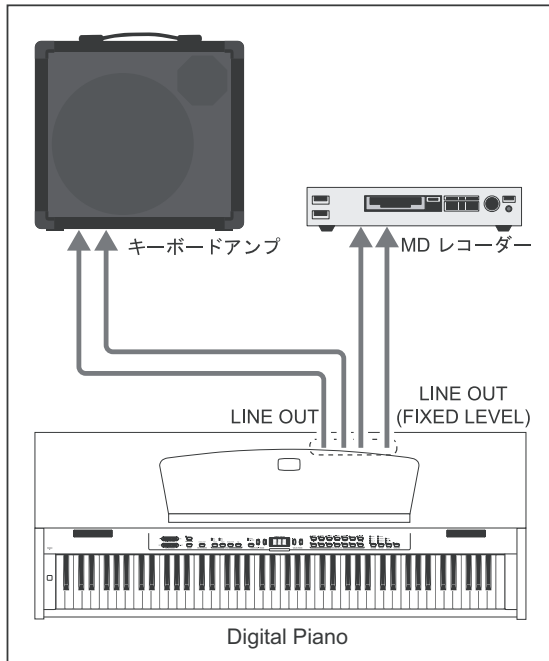


図: 6.2: アンプと録音機の接続

- 1) アンプを LINE OUT の接続口に接続してください。
- 2) 録音機器の固定プラグを 装置の LINE OUT で接続してください。

注意

外付けアンプの電源を入れる前に、EUROGRAND 装置の電源を入れてください。装置内の内破壊の恐れがあり、アンプシステムやスピーカーを破損してしまう恐れがあります。停止する際は逆の手順で行ってください。

6.3 MIDI 機能

MIDI は、他の MIDI 装置との接続機能を担っています。主に重要な機能は、例えば、演奏音程、音調、コントローラーデータの変換等、演奏に重要なデータを生成します。(例 ペダル)。

6.3.1 その他のサウンドモジュールへの MIDI 接続

EUROGRAND をその他の音生機器と MIDI を介して接続することが可能です。音生機器を接続することによって、特殊なシンセティック音質をデジタルピアノで奏することができます。7.1 章に記載されているように、他の音生装置からのオーディオ信号を EUROGRAND に接続することによって、EUROGRAND の SPEAKERS から、音を聞くことが出来ます。

以下の図は、装置を他のサウンドモジュールに接続を表します。

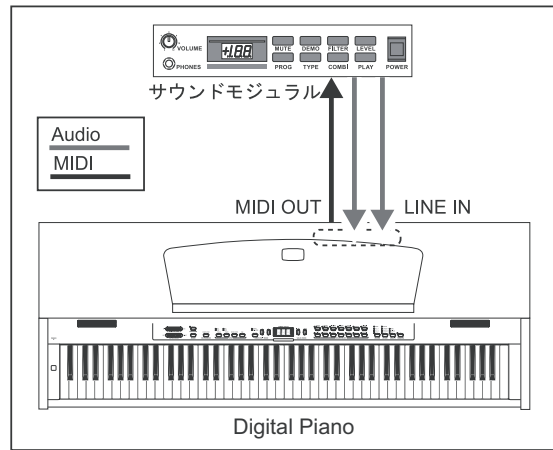


図: 6.3: MIDI サウンドモジュール操作

- 1) EUROGRAND の MIDI OUT- プラグ部からサウンドモジュール機を接続してください。
- 2) MIDI 送信または受信チャンネルの相互性を確認下さい。(6.3.3 章参照)
- 3) スピーカーからその音色を聞きたい場合、サウンドモジュールの Audio- 出力部 EUROGRAND の LINE IN 接続部と接続してください。

6.3.2 シーケンサーソフト搭載のミュージックコンピュータと MIDI の接続

EUROGRAND は、シーケンサープログラムと接続することが出来ます。(例 Cubase, Logica) シーケンサーを利用することによって、様々な機能を応用することが可能で、MIDI データを受信し、編集することが出来ます。この方法で、多彩な音調を奏することが出来ます。その他、楽譜の印刷や再生にもご利用いただけます。また、ミュージックシーケンサーのデータをコンピューターに保存することも出来ます

以下、ミュージックコンピュータとの接続に関する図です。サウンドモジュールとの接続が最適です。

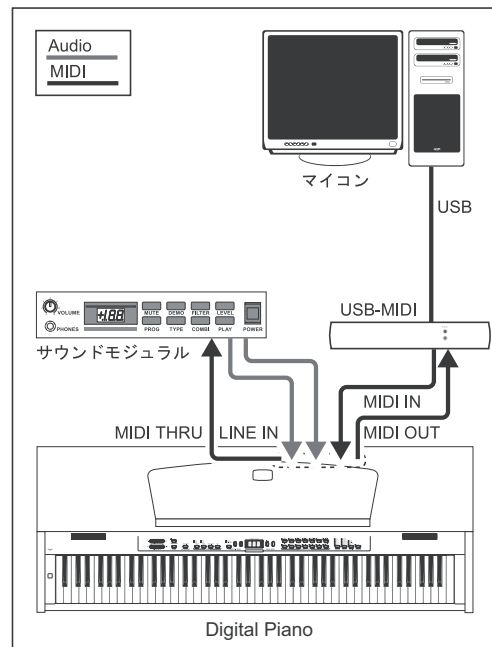


図: 6.4: シーケンサーと外部サウンドモジュールの MIDI セットアップ

- 1) EUROGRAND の MIDI OUT- プラグ部を相互性のあるサウンドカードの MIDI IN- プラグ部と接続下さい。
- 2) EUROGRAND の MIDI IN- プラグ部と サウンドカードの MIDI-OUT プラグ部を接続下さい。
- 3) サウンドモジュールの MIDI IN- プラグ部と EUROGRAND の THRU プラグを接続下さい。

- 4) デジタルピアノのスピーカーから外部音源の信号をプレイバックしたい場合は、サウンドモジュールのオーディオ出力部を EUROGRAND の LINE IN 部分と接続してください。

6.3.3 MIDI 設定

EUROGRAND では、MIDI データの調整によって様々な機能が利用できます。

EDIT- モードより (5.1章参照) ご希望の機能を出していただきます。

▶ MIDI-送信チャンネルの設定

以下の方法で EUROGRAND MIDI- データに送られるべき送信チャンネルの設定が可能です。MIDI 装置の送信または受信チャンネルは相互性がなければ、MIDI のコミュニケーションがうまく進みません。

機能: E 7.1
 値: 1 ... 16, OFF
 解説:

1 ... 16: Das EUROGRAND は設定されたチャンネルに MIDI- 送信 データ (既定設定値: 1)
 OFF: EUROGRAND は MIDI- データを送信しません。

レイヤーモードの音調 1 は、設定されたチャンネルに MIDI データを送信し、音調 2 は次に高いチャンネルに送信します。

DEMO 曲やミュージックシーケンサーデータは、MIDI 出力では送信できません。ミュージックシーケンサー内のこれらの曲は MIDI 転嫁方法で聴くことが可能です。 (“ミュージックシーケンサーデータの送信”、後の章で説明いたします)。

▶ MIDI-受信チャンネルの設定

EUROGRAND が受信する MIDI データの受信チャンネルの設定を紹介いたします。MIDI 装置の送信または受信チャンネルは相互性がなければ、MIDI のコミュニケーションがうまく進みません。ミュージックコンピューターとのコミュニケーションをうまく行うためには、既定設定値 “ALL” でなければなりません。

機能: E 7.2
 値: ALL, 1-2, 1 ... 16
 解説:

ALL: 16 チャンネル全て同時に行う MIDI データのマルチ受信 (既定値設定)
 1-2: チャンネル 1 と 2 で MIDI- データを受信
 1 ... 16: 指定した MIDI- チャンネルで MIDI データを受信

MIDI- データのマルチ受信法は、EUROGRAND をシーケンスプログラムと接続することによって音声発生として利用でき、音質に多彩なアレンジを加えることが出来ます。(5.3.2 章参照)。

▶ 音声発生器 起動-/停止 (ローカル on/off)

この機能によって、キー演奏をそのまま再生するか、MIDI データとして送られた音データを再生する設定が出来ます。

機能: E 7.3
 値: on, OFF
 解説:

on: 音声発生機がキー演奏または MIDI- ノートに反応する。(既定値設定)
 OFF: 音声発生機は、キー演奏に反応せず、MIDI- 演奏符のみに反応します。

▶ プログラムチェンジ 実行/無効

以下、EUROGRAND が MIDI-プログラムチェンジを実行するか無効にするかの手順を説明します。プログラムチェンジのコマンドは、例えば、シーケンスプログラムからの音調を EUROGRAND に取り入れる際に MIDI コマンドから選択する機能があります。SOUND-SELECT セクションから音調を選択される場合は、逆に EUROGRAND の MIDI-出力からプログラムチェンジのコマンドが送信されます。(9.2 章参照)。

機能: E 7.4
 値: on, OFF
 解説:

on: プログラムチェンジのコマンドが発信され、受信される (既定値設定)
 OFF: プログラムチェンジのコマンドは発信されず 受信もしません。

▶ MIDI-コントローラー 実行/中止

以下、EUROGRAND の MIDI コントローラーデータの登録方法を説明いたします。コントロールデータには、数々の音調調整の制御に活用されるデータがあります。(例 ペダル状況、音量、音響音量)。

機能: E 7.5
 値: on, OFF
 解説:

on: コントローラーデータは送信され受信されます。(既定値設定)
 OFF: コントローラーデータは送信されることも 受信することも出来ません。

EUROGRAND は、コマンドを実行されても、MIDI-インプリメンテーション表に表示されたコマンドのみ反応します。(9.5 章参照)。

▶ MIDI-変調

以下、内蔵の音声発生器に関係なく、MIDI- データを変調する手順を説明いたします。この機能によって、EUROGRAND のキーで発生した音調を接続した音声発生器で音程を変えることが可能になります。

機能: E 7.6
 値: - i2 ... i2
 解説:

0: 音譜調音を MIDI に実行しない出力 (既定値設定)
 1 ... i2: 音譜調音を設定した値に半音高くする。
 - 1 ... - i2: 音譜調音を設定した値半音低くする。

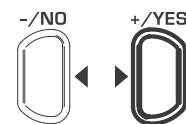
この設定は EUROGRAND 内蔵の音声発生機能には影響しません!

▶ コントロールパネル設定の送信 (スナップショット)

以下、EUROGRAND の設定値を (例 選択された音調または音響効果、チャンネル音量) MIDI-出力から伝達する方法を説明します。この伝達方式は、システムに関する一括データ (MIDI- ダンプ) のことを意味します。

効果: E 7.7
 値: -
 解説:

- 1) EUROGRAND を 6.3.2 章に記述されていますように、コンピューターまたはシーケンサーハードウェアに接続してください。
- 2) MIDI- シーケンサーを受信可能な状態に設定して下さい。
- 3) EDIT- モードで E 7.7 機能を選択下さい。
- 4) +/-YES- ボタンを押して、送信を実行して下さい。



VALUE/SONG

送信が完了しましたら、ディスプレイに END が表示されます。

データをその後 EUROGRAND に送り返すことが出来ます。EUROGRAND を MIDI IN- プラグ部でデータを送信した装置と接続してください。MIDI- シーケンサーから送信を始めますと、EUROGRAND は自動的にデータ受信を始めます。この際、DEMO- または EDIT- ミュージックシーケンサーモードが有効状態にあってははいけません!

▶ ミュージック シーケンサー データの送信

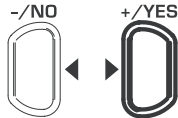
以下、ミュージックシーケンサーのデータをMIDI出力から送信する方法を説明いたします。この機能では、演奏されました曲をミュージックコンピューターまたはMIDIシーケンサーハードウェアに保存することが出来ます。この伝達方式は、システムに関する一括データ(MIDIダンプ)のことを意味し、MIDIプレイデータではありません。

機能: E 7.8

値: -

解説:

- 5) EUROGRAND を 6.3.2 章に記述されていますように、コンピューターまたはシーケンサーハードウェアに接続してください。
- 6) MIDI- シーケンサーを受信可能な状態に設定して下さい。
- 7) EDIT- モードで E 7.8 機能を選択下さい。
- 8) +/YES- ボタンを押して、送信を実行してください。



VALUE/SONG

送信が完了しましたら、ディスプレイに END が表示されます。

☞ データをその後 EUROGRAND に送り返すことが出来ません。EUROGRAND を MIDI IN- プラグ部でデータを送信した装置と接続してください。MIDI- シーケンサーから送信を始めますと、EUROGRAND は自動的にデータ受信を始めます。この際、DEMO- または EDIT ミュージックシーケンサーモードが有効状態にあってははいけません!

7. トラブルシューティング

- ▶ 楽器の電源が入りません。
 - ▲ 電源コンセントの接続を確認してください。(2.1 章参照)
- ▶ 音が聞こえません。
 - ▲ MAIN VOLUME コントローラーを確認してください。(2.2 章参照)。
 - ▲ SPEAKER ボタンの位置を確認して下さい。(4.4 章参照)。音声発生機が有効になっているか確認下さい。(6.3.3 章参照)。
- ▶ ペダルが正しく動きません。
 - ▲ ペダルケーブルの接続を確認下さい PEDAL- プラグ EUROGRAND 下部 (2 章参照)。
- ▶ 音声信号に歪みがあります。
 - ▲ MAIN VOLUME ボタンで音量を低く設定してください。
- ▶ ディスプレイに Full が表示されます。
 - ▲ ミュージックシーケンサーの容量がいっぱいです。演奏した曲を削除したくない場合は、MIDI 送信機能で、ミュージックコンピューターに保存下さい。(6.3.2 と 6.3.3 章参照)
- ▶ インストゥルメントをオフにすると、全ての設定が失われます。
 - ▲ 通常 EUROGRAND は既定設定値に設定がされており、電源を切った際に消去されます。個人設定を保存されたい場合は、5.6.5 章にある保存機能をご利用下さい。
- ▶ EUROGRAND が全ての MIDI コマンドに反応しません。
 - ▲ EUROGRAND は、MIDI インプリメンテーション表に表示されたコマンドにしか反応しません。
 - ▲ 装置が MIDI データを送信状態にあるか、また EUROGRAND に MIDI フィルターが有効になっていないか確認下さい。(6.3.3 章参照)
- ▶ ディスプレイに Err が表示されます。
 - ▲ 内部エラーが発生しました。装置の電源を切り、30 秒後に再起動して下さい。それでもエラーが表示される場合は、当社サポートセンターにご連絡下さい。詳細はインターネット www.behringer.com を参照下さい。

8. テクニカルデータ

キーボード	88 鍵 ハンマーアクション (A-1 - C7)
音声発生機	RSM (リアルサウンドメモリー) ステレオサンプリング, 16 MB ROM
ポリフォニー	最大 64 音譜
音調	14
エフェクト	
ルーム効果	4 タイプ (ROOM, HALL 1, HALL 2, STAGE)
モジュレーション効果	4 タイプ (CHORUS, FLANGER, TREMOLO, DELAY)
シーケンサー	
タイプ	2-トラック
メモリー	1 曲、約 10.000 音符
ペダル	3 (ソフト、ソステヌート、ダンパー)
LINE IN	
接続端子	6,3 mm モノラルフォンジャック、アンバランス型
インピーダンス	約 10 kΩ
LINE OUT	
接続端子	6,3 mm ステレオフォンジャック、インピーダンスバランス型 RCA、アンバランス型
インピーダンス	約 100 Ω, アンバランス型 約 200 Ω, バランス型
最高出力	+7 dBu
PHONES	
接続端子	6,3 mm ステレオフォンジャック
最大出力レベル	+13 dBu/120mW @ 100 Ω Last
MIDI	IN, OUT, THRU
アンプ	
出力	2 x 40 W
電源供給	
電源電圧/ヒューズ	
110 - 220 V~, 50/60 Hz	T 2,5 A, H 250V
220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 1,25 A, H 250 V
消費電力	約 135 W
外形寸法/重量	
EG2180	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 880 x 1405 x 525 mm
重量	約 64.6 kg
EG8180	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 843 (クローズ) / 1490 (オープン) x 1378 x 1005 mm
重量	約 90.6 kg

BEHRINGER 社は、最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は、事前の予告なしに行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する場合がありますが、あらかじめご了承ください。技術仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

9. 注意

9.1 ケーブル

以下、他装置とデジタルピアノ接続に必要なケーブルの概要を記載いたします。これらのケーブルは梱包されていません。ご利用方法によっては、アダプターケーブルが必要となります。アダプターケーブルまたはアダプタープラグをご使用下さい。(例 ジャックプラグ)。ケーブルアダプターをご利用されたほうが、シグナルの質を保つためには、アダプタープラグよりも適しています。

9.1.1 アンバランス型 6.3 mm ケーブル

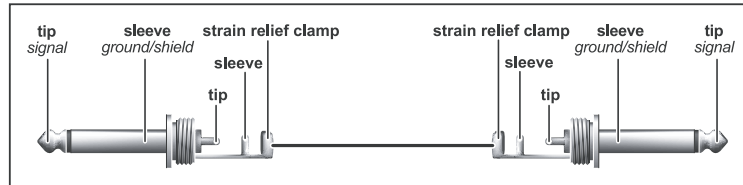


図: 9.1: 6.3 mm モノラルフォンジャックつきアンバランス型 6.3 mm ケーブル

9.1.2 RCA ピンジャック

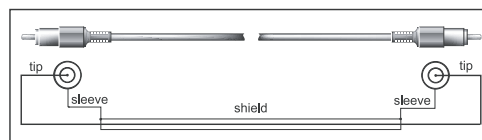


図: 9.2: HiFi RCA ピンジャックケーブル

9.1.3 6.3 mm / RCA ケーブル

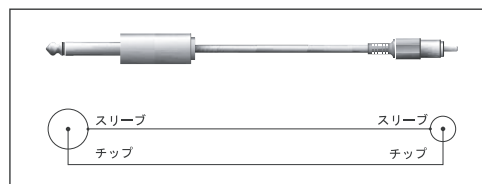


図: 9.3: 6.3 mm / RCA ケーブル

9.1.4 MIDI ケーブル

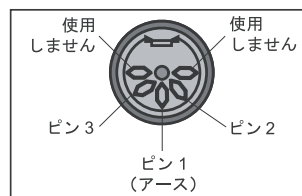


図: 9.4: MIDI プラグピン設定

9.2 EUROGRANDのプリセット

音調	内容	ステレオサンプル	キー強弱設定	キー強弱サンプル	サンプルリリース	MIDI-コマンド	
						MSB/LSB	プログラムチェンジ
GRAND PIANO 1	グランドピアノのクラシック音調 ソフトな音色	✓	✓			0/122	0
GRAND PIANO 2	グランドピアノの鋭音響 ポップまたはロック演奏に適しています。	✓	✓			0/112	0
E-PIANO 1	80年代の電子ピアノ音		✓			0/122	5
E-PIANO 2	ノスタルジックな電子ピアノ鋭音響		✓	✓		0/122	4
HARPSICHORD	バロックのチェンバロ音調	✓			✓	0/122	6
CEMBALO	オクターブドロップしたチェンバロ音	✓			✓	0/123	6
VIBRAPHONE	力強いビブラフォン音	✓	✓			0/122	11
PIPE ORGAN	やさしいバロック調の木オルガンの響き					0/123	19
CHURCH ORGAN	教会オルガンのような力強い響き					0/122	19
JAZZ ORGAN	典型的なジャズオルガンの音調					0/122	16
STRINGS	自然で響き渡る音調	✓	✓			0/122	48
SOFT STRINGS	ソフトなストリングスの音調	✓	✓			0/122	49
CHOIR	様々な音程が混ざり合った音調		✓			0/122	52
ACOUSTIC GUITAR	クラシックギターのようなやわらかく暖かい響き	✓	✓			0/122	24

9.3 DEMO 曲一覧表

ナンバー	曲名	作曲家
1	インベンション 1 番 ハ長調, BWV 772	ヨハン・セバスチャン・バッハ
2	ピアノソナタ 16 番, 一楽章, ハ長調, ケツヒェル 545	ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
3	ピアノソナタオーパス 13 8 番 "悲愴" 2 2. 偏イ長調	ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーベン
4	ピアノソナタオーパス 49 2 番 1. ホ長調	ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーベン
5	アンプロンプト速攻曲 2 番ホ長調	フランツ・シューベルト
6	春際 イ長調	フェリックス・メンデルスゾーン・バートルディ
7	ファンタジーアンプロンプト 嬰ハ単調	フレドリック・ショパン
8	プレリュードオーパス 28、15 番 "雨の滴" 偏 2 長調	フレドリック・ショパン
9	練習曲オーパス 10、12 番 "革命"、ハ単調	フレドリック・ショパン
10	ワルツオーパス 64、1 番 "子犬のワルツ" 偏ニ長調	フレドリック・ショパン
11	ワルツオーパス 64、2 番嬰ハ単調	フレドリック・ショパン
12	愛の夢 3 番 偏イ長調	フランツ・シューベルト
13	アラベスク 1 番 ホ長調	クロード・ドビュッシー
14	子供の情景 偏ホ調方	クロード・ドビュッシー
15	マプレリーフラグ 変イ長調	シヨット・ジョブリン

9.4 MIDI-インプリメンテーション

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1	1	
	Changed	1 - 16	1 - 16	
Mode	Default	3	1	Poly mode only
	Messages	X	X	
	Altered	X	X	
Note Number		9-120, v=1-127	0-127, v=1-127	
	True Voice	X	0-127	
Velocity	Note ON	O	O	
	Note OFF	X	X	
After Touch	Keys	X	X	
	Channels	X	X	
Pitch Bend		X	X	
Control Change	0,32	O	O	Bank select
	7	O	O	Volume
	11	O	O	Expression
	64	O	O	Damper
	66	O	O	Sostenuto
	67	O	O	Soft pedal
	91	O	O	Reverb depth
	94	O	O	Effect depth
Program Change		O	O	
System Exclusive		O	O	
System Common	Song Pos.	X	X	
	Song Sel.	X	X	
	Tune	X	X	
System Real Time	Clock	O	O	
	Commands	O	O	
Aux Messages	Local ON/OFF	X	O (122)	
	All notes OFF	O	O (123-125)	
	Active Sense	O	O	
	Reset	X	X	
	All sound off	O	O (120, 126, 127)	
	Reset all ctrl	O	O (121)	
Notes				
O = YES, X = NO				
Mode 1:	OMNI ON, POLY			
Mode 3:	OMNI OFF, POLY			

ja

9.5 EDIT-パラメーター

カテゴリー	項目	内容	機能	値	機能設定
調律	微調律	全般微調律 1/5 Hz 歩調	E1	427 - 453	440
調律手順	調律手順	調律手順(スカラー)の選択	E2.1	1 ... 7	1 (同周波)
	基本音程	音調手順用の基本音選択	E2.2	c ... b	c
重奏音様式	音量	音声 1 と音声 2 間の音量相関	E3.1	0 ... 20	-*
	音変換	音声 1 の音声 2 に対する変換	E3.2	- 10 ... 10	-*
	オクターブ転換 音声 1	音声 1 のオクターブ値	E3.3	- 1, 0, 1	-*
	オクターブ転換 音声 2	音声 2 のオクターブ値	E3.4	- 1, 0, 1	-*
	音響効果 音声 1	交響効果を与えた音声 1 の音量	E3.5	0 ... 20	-*
	交響効果音 音声 2	交響効果を与えた音声 2 の音量	E3.6	0 ... 20	-*
	リセット	重奏音設定のリセット	E3.7	-	-
弱音ペダル	機能	弱音ペダル機能:: 1) 弱音ペダル 2) ミュージックシーケンシー	E4.1	1, 2	1
	効果	弱音ペダルによる音響強弱	E4.2	1 ... 5	3
メトロノーム	音量	メトロノーム音量	E5	1 ... 20	10
継続音効果ペダル	グラデーション音量調整	ミュージックシーケンシーにおける弱音音量	E6	0 ... 20	5
MIDI	出力口	MIDI データから出力される MIDI チャンネル	E7.1	1 ... 16, OFF	1
	入力口	MIDI データから入力される MIDI チャンネル	E7.2	ALL, 1-2, 1 ... 16	ALL
	音調機能(ローカル 入/切)	内部キーボードデータ音調の 入/切	E7.3	on, OFF	on
	プログラム切り替え	プログラム切り替え 実行または中断(送信/受信)	E7.4	on, OFF	on
	コントローラーコマンド	コントローラーコマンド 実行または中断(送信/受信)	E7.5	on, OFF	on
	変換	MIDI 送信による音調変換	E7.6	- 12 ... 12	0
	オペレーションセッティング	現行設定を MIDI に送信(弱音)	E7.7	-	-
	ミュージックシーケンシーデータ	ミュージックシーケンシーデータをMIDIに送信(弱音)	E7.8	-	-
保存	音色	音色設定の一時保存	E8.1	on, OFF	OFF
	MIDI	MIDI 設定の一時設定	E8.2	on, OFF	OFF
	変換	音変換と音調設定の一時保存	E8.3	on, OFF	OFF
	弱音ペダル	弱音ペダル設定の一時保存	E8.4	on, OFF	OFF

ja

* 既定設定値は、選択された音色に従属します。

テクニカルデータや製品の的外観は予告なしに変更される場合があります。ここに記載された情報は、印刷時のものです。表記された登録商標(BEHRINGER、BEHRINGER ロゴ、JUST LISTEN および EUROGRANDを除く)は、すべて該当する登録商標所有者に帰属するものであり、BEHRINGER 社とは一切関係ありません。BEHRINGER 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起した行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター(配給元)およびディーラー(販売業者)は、BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER International GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

複製権所有 / ALL RIGHTS RESERVED.
 © 2008 BEHRINGER International GmbH, Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38, 47877 Willich-Muenchheide II, Germany.
 Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903